

全国中学生人権作文コンテスト 愛知県大会入賞者が決まりました!

企画・制作／中日新聞広告局



最優秀賞
名古屋法務局長賞

「対照的な光景」

北設楽郡設楽町立
設楽中学校3年
後藤 希実さん

次世代を担う中学生の皆さんに、人権尊重の大切さや基本的人権について理解を深め、豊かな人権感覚を身につけてもらうことを目的に「全国中学生人権作文コンテスト」が実施されています。愛知県大会(名古屋法務局、愛知県人権擁護委員連合会主催、中日新聞社共催)では、今年度も、県内の284校、14458編の応募があり、選考の結果、次の入賞者が決定しました。



最優秀賞
愛知県人権擁護委員連合会長賞

「あの日学んだ
大切なこと」

私立滝中学校2年
高橋 和加奈さん



中日新聞社賞

「障害者を
理解するために」

愛知郡東郷町立春木中学校3年
稲垣 里咲さん

優秀賞のみなさん

○一宮市立尾西第三中学校3年 大野左知子○小牧市立応時中学校3年 松尾萌々子○東海市立横須賀中学校3年 神野航典○岡崎市立美川中学校3年 加藤恵美理○知多市立東部中学校3年 岡戸佑樹○豊橋市立豊城中学校2年 今川真由香○西尾市立吉良中学校3年 尾崎初華○豊橋市立北部中学校3年 榎原伶兼○北名古屋市立西春中学校3年 安田裕香子○半田市立青山中学校3年メンドーサ理沙子



お知らせ

その1 平成23年度全国人権作文コンテスト愛知県大会の入賞者の表彰式及び作品の朗読発表は、11月27日(日)にウイングあいち大ホールで開催される「人権ハートフルフェスティバル」において行われます。

その2 最優秀賞、中日新聞社賞の作品は、名古屋法務局のホームページでご覧になれます。
<http://houmukyoku.moj.go.jp/nagoya/frame.html>

入KENまる君

「お問合せ先」名古屋法務局人権擁護部第一課 ☎052-952-8111(代表)(平日AM8時30分～PM5時15分)

子どもの人権110番 ☎0120(007)110

●相談は無料です。※IP電話からはつながりません。

インターネット人権相談窓口 インターネット人権相談 検索

パソコン <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>
携帯電話 <http://www.jinken.go.jp/soudan/mobile/001.html>

人KENあゆみちゃん

对照的な光景

北設楽郡設楽町立 設楽中学校 三年 後藤希実

それは、まさに対照的な光景でした。夏休みに入ったある日、私はよく行く服屋で買い物をしていました。すると、店の角にある子どもの遊び場コーナーで、若いお父さんと、歳くらいの女の子が遊んでいるのが目に入りました。楽しそうな笑い声が聞こえ、いい光景だなと思って、いたその時です。

そもそも、虐待はなぜ起きてしまうのでしょうか。なぜ自分の子どもをヶ月間放置したり、洗濯機に入れたりできるのでしょうか。私はこう考えます。虐待はいじめだと。いじめる人、つまり虐待をしてしまう大人は、心が病気になるてい人です。例えば、人間関係がうまくいかない、職を失った、など。そして、その人たちは心が弱って機能低下してしま

態かも知れませんが、でも、考えてみれば分かるはずですよ。その行為が、どんなに悲しいことか。子どもはオモチャではありません。ストレスを解消する道具でもあります。一人の人間ですよ。しかも、あなたの大切な家族です。私は以前、こんな話を聞いたことがあります。

「両親が離婚するとき、昔はどちらも子どもを引き取りたくてモメたが、今はどちらも引き取りたくなくてモメることが多い。」

私の背中の方から、女の人の怒鳴り声
が聞こえました。振り向くと、若いお母
さんがこちらにも「歳くらいの男の子を怒
っていたのです。きと、買い物に飽きてわ
めいていたでしょう。しかし、お母さん
は怒鳴り終えた後、再び婦人服売り場
に吸いこまれていきました。……男の子を
残して。私はしばらくあつげにとられ
そのうちこんな言葉が思い浮かびました。
「児童虐待」私が見たあの母親は、虐
待というにはあまりに大げさだと思いま
す。しかし、自分の都合で幼い子供を連
れ回す様子は、その辛い行為の最初、小
さな小さな始まりにも思えたのです。

い、他人のことが考えられなくなりまし
良い所も、悪く思えてくるのです。子ど
もの無邪気な笑顔や仕草まで。よく、テ
レビで虐待をした親が「イライラした。うつ
とうしかった。」などと言っているのはこう
いうことだと思えます。しかし、いじめ
と虐待では違うことが二つあります。一
目は、子どもが助けを求められないとい
うことです。私はもしいじめにあたら
真つ先に親に相談すると思えます。でも、
この子たちにはそれができません。守つて
くれるはずの親が、敵となっているのです
から。また、力が弱いので抵抗すること
もできません。誰かに相談すること

「どちらも引き取りたくなくてモメることが多い。」

「悲しいと思いませんか? こともにとつてあなたは、大好きな、世界でたった二人のお父さん、お母さんなんです。子どもの気持ちも考えず、勝手に決めないでください。子どもたちには、未来があります。八十年、九十年と続く長い未来。それを、あなたの都合で奪わないでください。最後に、私はこんな話を信じています。」

「子どもは、親を選んで生まれてくる。」この人なら幸せに育ててくれそう、愛しててくれそう。そんな期待を込めて、あなたのもとへやってくるのです。だから、自

私はこの十五年間、親から虐待はもちろん、たたかれたこともありません。私の父と母は、小さい頃から私たち子どもを第に考えませんでした。例えば

もできないのです。二つ目は、私の勝手な予想なのですが…。親と子は血が繋がっているのだから、顔や仕草など、どこかしら似ていると思います。心が病気の親

信を持つてください。何億人という人の
中から選ばれたことを誇りに思ってください。
さい。そして、その期待に応えられるよう、
精一杯育ててください。

私が大きくなるまでは買い物や食事に連れて行くのを我慢したそうです。小さい子はすぐ飽きてしまうのに、大人につき合わせるのには可哀想だから、と。その通りだと思います。二歳や三歳の子に社会のルールなど分かるはずがありません。あの母親は、自分の買い物に「付き合ってもらっていたのに、男の子の気持ちを考えていなかったのだと思います。」

は、嫌な自分のことを、子どもを見ると
思ひ出すのではないでしようか。そして
その現実から逃げて、子どもに感情をぶ
つけているのでは…。

今、この瞬間にも、どこかで虐待を受
けている幼い命がいるかもしれません。当
然、虐待をしている親も、その人たちに
伝えたいことがあります。あなたは今、
心に傷を抱えて、平常心すら持てない状

あの夏の日、あの母親は男の子の手を
しぶしぶ握りながら店の奥へ行ってしまひ
ました。一方、父親と女の子のもとには、
買ひ物を終へた母親が早足で駆けつけ、
三人で手を繋いで店を出ていきました。
反対方向と歩き出すこの二組の親子。
それはまるで、子とも達、親達の未来を
左右する分かれ道のような気がしてなり
ませんでした。